# TITLE

7
JUL.| 200
タイトル
定価580y

大友克洋が語る『スチームボーイ』のすべて。

平成16年7月1日発行（隔月1回1日発行）第3巻第7号（通巻19号）



# 直撃！アニメ最前線。

## ABSOLUTELY ANIMATION!

『イノセンス』『ハウルの動く城』『シュレック2』
&ピクサー・スタジオ徹底解剖。

パペット・アニメ『ピングー』新シリーズ・スタート!

ユーリ・ノルシュテイン、ライフワークを語る。

Fresh!
Horror Movies
ホラー映画
最新情報

photograph by David Heald ©The Solomon R. Guggenheim Foundation, New York

# どんなモノを造ろうか、「ニューヨーク グッゲンハイム美術館展」コラボ・グッズ。

**『TITLE』が展覧会のグッズを造ります! この夏開催の「ニューヨーク グッゲンハイム美術館展」でコラボ・グッズを企画。その経過を3号連続でレポートします。まずはコンセプトから。**

text : Yuko Harigae
photographs : Takashi Shimizu



数々のアイテムが描かれた酒井さんのスケッチ。



酒井俊彦
1964年高知県生まれ。'87年東京造形大学卒。デザインスタジオ勤務を経て'91年に渡豪、翌年の帰国後(有)サカイ デザイン アソシエイツを設立。インテリア、プロダクツなど多方面で活躍を続けている。



自然光が溢れるオフィスで打ち合わせる酒井氏。ちなみにチェアやテーブルは酒井氏自身のデザインによる。

この7月より渋谷で開催される「ニューヨーク グッゲンハイム美術館展」。近現代美術の宝庫として屈指のソロモン・R.グッゲンハイム美術館の名作を、日本で見ることができるとあって、今から注目を集めている。そのグッゲンハイム美術館展で、なんと『TITLE』がコラボレーション・グッズを企画することに! つまり、開催期間中に会場で販売されるオリジナル・グッズを造ってしまおうというワケだ。ここは一つ、他では見られないようなアイテムを企画して、会場を訪れる人たちに楽しんでもらいたい!

ということで、『TITLE』がデザインをお願いしたのが酒井俊彦さん。インテリアからプロダクツまで、多岐にわたるデザインやプロデュースで国内外から高い評価を得ているプロダクト・デザイナーだ。そしてグッズのモチーフは、フランク・ロイド・ライト設計による美術館の外観を生かし、「螺旋」にすることに決定。そのモチーフで、まずは酒井さんからアイテムのアイデアを出してもらうことになった。これが2月の話。

「コンセプトのないグッズは造ってもしようがないですよね」

3月。酒井さんのプレゼンは、そんなふうに始まった。

「展覧会に行くという行為って何なんだろうって、そこから考えました。作品を見て感動しても、それを手に入れることはできない。時間を使って、形あるものはなんにも残らないという、とても贅沢で、はかない行為ですよね。だから、僕もグッズのコンセプトを〝はかないもの〟にしたいんです」

え? それって消えてしまうものってこと? ……と一瞬とまどった編集部スタッフだが、具体的に彼の提案する数々のアイテムを説明してもらって納得。はっきり言って面白い! 詳しいことは次号以降で紹介するとして、いまは「はかない=変化する」ものとだけ言っておこう。

で、現在酒井さん&『TITLE』は、このコンセプトをもとにグッゲンハイム美術館展コラボ・グッズを鋭意製作中。どのアイテムも従来の展覧会グッズにはないセンスと自負するものの、中には諸般の事情から泣く泣くあきらめたものも。最後に会場に並ぶグッズは何か? 乞う御期待、である。

**いよいよ開催迫る!**
**「ニューヨーク グッゲンハイム美術館展」**

ピカソ、レジェ、ウォーホルなど、グッゲンハイム美術館所蔵の名作79点を集めた展覧会が渋谷のBunkamura ザ・ミュージアムで開催。7月17日〜10月11日、開催期間中無休。問ハローダイヤル03-5777-8600 www.guggen.jp